

按分処理で得られた計測数の取扱いについて（報告）

令和2年度第2回委員会において、事務局から按分処理で得られた値を用いて判断をした飛散開始日、飛散終息日等について委員会資料や報道発表資料に注釈を付けることを提案した。その後の経過を報告する。

1 公表状況

- (1) スギ花粉飛散開始（速報） 2月8日報道発表
按分処理なし。
- (2) 都内各地点のスギ花粉飛散開始日 2月24日ホームページ公開
按分処理について、以下のように注釈を付けた。

令和3年春 都内各地点のスギ花粉飛散開始日

	千代田	葛飾	杉並	北	大田	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
開始日	2/12	2/6	2/12	2/12 ※1	2/6	2/10 ※2	2/12 ※2	2/12 ※2	2/12 ※2	2/12 ※2	2/12 ※2	2/12 ※2

飛散開始日の定義

1月以降に1平方センチメートルあたり1個以上のスギ花粉を、2日以上連続して観測した最初の日が、その観測地点の飛散開始日となります（公益財団法人日本アレルギー協会 花粉情報標準化委員会の定義による）。

なお、気象条件により、飛散開始日以前に少量の花粉が飛ぶ場合があります。

※1

北では、測定器の不調のため2月8日から11日まで及び2月12日から17日まで、1日ごとの測定ができませんでした。この期間の値は暫定的に按分して取り扱っているため、飛散開始日は推定日です。

※2

多摩部の測定点では、土・日・祝日等は休日明けの花粉計測数を日数で按分して求め、その結果、定義に該当した日を飛散開始日としています。

(3) 都内のスギ・ヒノキ花粉の観測結果（速報） 5月25日報道発表
 按分処理について、以下のように注釈を付けた。

表 令和3年のスギ・ヒノキ飛散花粉数^{※1}
 （1月4日から5月12日までの集計）

（飛散花粉数の単位：個/cm²）

観測地点 区市名	飛散花粉数			過去との比較		飛散終息日 ^{※3}		
	令和3年 ^{※2}	令和2年	過去10年 平均	令和2年 に対する比率	過去10年平均 に対する比率	スギ花粉	ヒノキ花粉	
スギ + ヒノキ	千代田	3,629	2,419	5,270	1.5	0.7	4月22日	5月9日
	葛飾	3,320	2,025	5,345	1.6	0.6	4月22日	5月2日
	杉並	4,412	3,436	6,263	1.3	0.7	4月20日	5月9日
	北	3,082	2,173	5,131	1.4	0.6	4月19日	5月2日
	大田	3,551	2,028	4,968	1.8	0.7	4月24日	5月4日
	青梅	6,682	4,422	12,876	1.5	0.5	4月19日	5月2日 ^{※5}
	八王子	5,095	2,990	8,975	1.7	0.6	4月28日 ^{※5}	※4
	多摩	3,187	3,651	7,923	0.9	0.4	4月14日	5月6日
	町田	3,408	1,511	5,440	2.3	0.6	4月17日 ^{※5}	※4
	立川	5,152	1,710	5,732	3.0	0.9	4月17日 ^{※5}	5月8日 ^{※5}
	府中	2,247	2,260	4,832	1.0	0.5	4月14日	4月15日
小平	1,248	1,311	3,365	1.0	0.4	4月14日	5月2日 ^{※5}	
都 平 均	スギ	3,115	2,026	4,659	1.5	0.7		
	ヒノキ	635	469	1,685	1.4	0.4		
	スギ+ヒノキ	3,751	2,495	6,343	1.5	0.6		

※1 表中の数値は、端数処理をして表示している。

※2 飛散が終息した地点は終息日までの合計値、終息していない地点は5月12日までの暫定値

※3 飛散終息日とは、飛散終了時期に3日間連続して0個が続いた最初の日の前日（空中花粉測定および花粉情報標準化委員会（平成6年）合意事項による）。飛散終息日後も微量の花粉が観測される場合がある。

※4 5月12日で飛散終息日が確定していない地点

※5 多摩部（青梅、八王子、多摩、町田、立川、府中、小平）の観測地点では、土曜日・日曜日・祝日は花粉数の計測を行っていないため、翌開庁日に計測した花粉数から休前日と休日期間中の飛散状況を推定し、※3に該当する飛散終息日を決定している。

なお、終息日の定義である「3日間連続して0が続いた日の前日」が休日で確定できない場合の考え方は、以下のとおりとしている。これは、平成15年度花粉症対策検討委員会（第1回）における佐橋委員の資料における記載を基にして導入した考え方であり、継続して使用している。

- 「0個が続いた最初の日の前日」のデータがプレパラートで**奇数の日数**の花粉を捕集したものであった場合 → 真ん中の日を採用する。
- 「0個が続いた最初の日の前日」のデータが、プレパラートで**偶数の日数**の花粉を捕集したものであった場合 → 真ん中の直前の日を採用する。

奇数の日数 (3日)	金	設置日	
	土	休	
	日	休	
	月		0.0
	火		0.0
	水		0.0
奇数の日数 (5日)	金	設置日	
	土	休	
	日	休	
	祝	休	
	祝	休	
	水		0.0
	木		0.0
	金		0.0
偶数の日数 (2日)	月	設置日	
	祝	休	
	水		0.0
	木		0.0
	金		0.0
			← 真ん中ココ
偶数の日数 (4日)	金	設置日	
	土	休	
	日	休	
	祝	休	
	火		0.0
	水		0.0
	木		0.0
			← 真ん中ココ